

# 今の時期に見られる動植物



**アオモシ**  
本州西部から琉球に分布。林縁や伐採跡地に生える落葉小高木。花は、早春に葉の展開とほぼ同時に咲く。



**セリ**  
日本全国に分布。湿地に生える多年草。葉は互生し、羽状複葉。花は2月から7月頃に咲く。春の七草の一つ。



**アマミシリアゲ**  
奄美大島に分布する固有種。春の訪れを感じさせる虫の一つ。幼虫は林床にすんでいる。



**リュウキュウベニイトトンボ**  
九州南部以南に分布。3月から11月にみられる。以前は普通にいた種だが、水田の減少にともない近年数を減らしている。



▲スダジイの花

## 今季の一枚 「スダジイ」

とても独特な匂いを放つスダジイの花。春を感じさせる匂いです。スダジイは、オキナワジイやイタジイともいいます。スダジイと言えば、美味しく食べられる椎の実ですが、去年の秋は凶作でした。スダジイは、花から実が熟すまで、2年かかります。一昨年は花のつきがよかったので、今年こそは豊作になるのではないかと思います。強い台風があると翌年の葉芽や花芽の発育に影響を及ぼすと言われています。今年も強い台風が来ないことを祈りつつ、実のなりを楽しみにしたいと思います。

参考文献 琉球弧・植物図鑑（南方新社 著：片野田逸朗）わきやあまみ18奄美群島のむし（奄美自然体験活動推進協議会・環境省奄美野生生物保護センター）

2021.3.31発行  
奄美野生生物保護センター  
〒894-3104 鹿児島県大島郡大和村思勝551  
TEL：0997-55-8620 FAX：0997-55-8621  
URL：http://kyushu.env.go.jp/okinawa/awcc/

奄美野生生物保護センター  
ニュースレター

編集・発行  
奄美自然体験活動推進協議会  
通巻65号

# 奄美の風だより

## センター & 協議会 News

### デジタルサイネージがセンターに設置されました！

デジタルサイネージとは、電子看板ともいわれ、パネルをスマホのようにタッチしながら使い、さまざまな情報を知ることができます。センターに設置されたデジタルサイネージでは、奄美群島国立公園についての見所の紹介、各島の国立公園のマップ、ルールやマナーについてのお願いや、利用規制についてのお知らせを知ることができます。

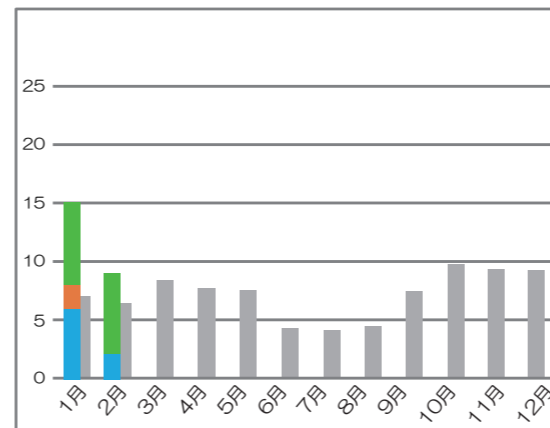


本格稼働は4月中旬からです。ぜひ、みなさまもセンターにお越しになり、タッチしてみてください。デジタルサイネージを使いながら新しい奄美群島の魅力を知っていただけたらと思います。

## センターからのお知らせ

### アマミノクロウサギ死体確認数

（奄美大島及び徳之島における2021年2月29日時点のアマミノクロウサギの死体確認数と死因）



※アマミノクロウサギがケガをしていたり、死んでいるのを発見したら奄美野生生物保護センターまで連絡して下さい。

### 保護されたケナガネズミの放獣と道路標識設置について

令和2年12月に国道で保護されたケナガネズミが、ゆいのしま動物病院での治療の結果、野生復帰が可能な状態に回復したため、令和3年2月に森林内に放獣しました。今回保護されたケナガネズミは、交通事故が原因と思われる。



放獣の様子▶

近年、ケナガネズミの交通事故が増えたため、新しくケナガネズミのイラストの道路標識が設置されました。みなさま、野生動物の交通事故防止にご協力をお願いします。



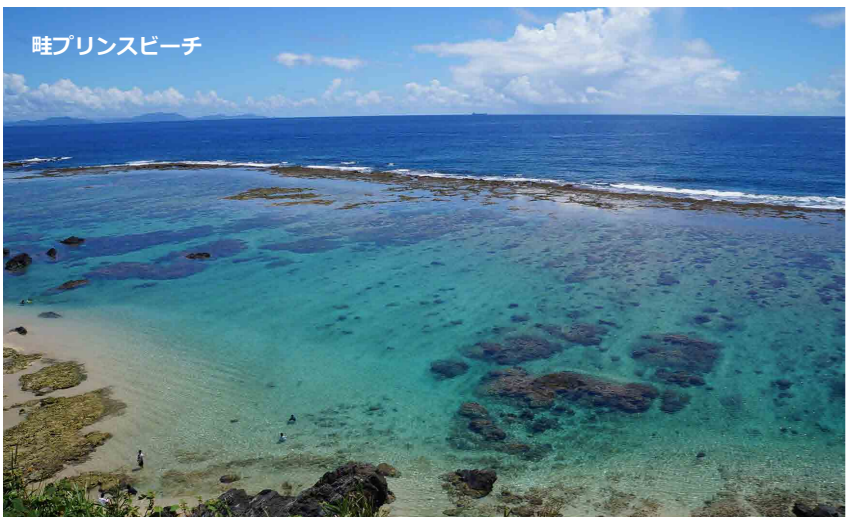
道路標識▶



# 奄美群島市町村だより

自分たちの地域の魅力を再発見し、また他の地域のことを知り、奄美の自然について理解を深めましょう。

## 今回は 徳之島町 です



太平洋に面した海岸には、島を取りまくようにサンゴ礁が発達しており、干潮時には200～300mの沖合いまでも広大な地続きとなります。

### 徳之島町の木

### 【オオハマボウ】

別名をユウナと呼び、わらべ歌や唱歌として古くから老若男女に親しまれています。台風にも強く、しっかり根を張り大きく成長します。

## 希少な生きものと共生する島

徳之島には、世界中でも徳之島・奄美大島だけに生息するアマミノクロウサギが生息しており、可愛いその姿を観察できる林道ナイトツアーはとても人気です。近年では、メディアで取り上げられる機会も増えたことから、テレビ画面に映るアマミノクロウサギを見た方も多いのではないでしょうか。

徳之島の象徴でもあるアマミノクロウサギですが、近年の保護活動の結果、生息地が拡大しており、島の農家さんが大事に育てた作物を食べてしまう問題を引き起こすようになりました。徳之島町では、年々増加する食害を重く受け止め、食害低減に取り組むと同時に、アマミノクロウサギが訪れる農園で育った農産物として付加価値をつけて販売するなど、島の農家さんと希少種が共生できる形を目指した取り組みを行っています。



▲アマミノクロウサギ



▲かじられたタンカンの幹

昨年11月、「アマミノクロウサギと“なかよし”になろうツアー」と題して、生態学習及び食害被害が発生しているタンカン農園で被害を低減するための防護柵を設置するツアーを開催し、子ども・一般を含め15名の方々に参加していただきました。

防護柵設置後のタンカン木は、食害に遭うこともなく順調に育ち、共生に向けた取り組みが一步前進したところ です。

今後は、アマミノクロウサギと共に育つ世界でもここだけのタンカンとしてブランディングを進めることで、徳之島のタンカンが新たな価値を持つことが期待されます。

このように、共生を目指した取り組みを進めるとともに、この地域だけでしか体験できない出来事、希少種と共に育つ農産物のPR等、徳之島町では豊かな自然を最大限に活かしたオンリーワンの活動を進めています。(徳之島町役場企画課)



▲クロウサギたんかんの販売



▲防護柵の設置

# いきもののふしぎ ~ 春の植物のお話 ~

春がやってきて、新緑が芽吹き、植物の生き生きとしたすがたをみることができます。

## 春に咲く花

春になると、きれいでかわいらしい、ユニークな花々をみることができるだけでなく、いろいろな匂いがしてきます。甘い匂い、ときには独特な匂い。目だけではなく、匂いでも春を感じることができます。

【きれいでかわいらしい、ユニークな花】



キヌラン  
高さが10cm未満の小型のラン。



ナンゴクネジバナ  
花が巻くように咲く。



コモウセンゴケ  
食虫植物。日当たりのよい場所に咲く。

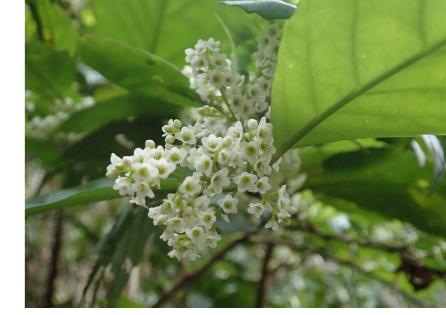
【匂いのある花】



スタジイ  
鼻につくような独特な香りがする。

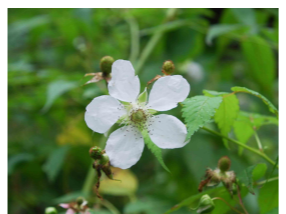


トベラ  
匂いがきつい。花が白から黄色に変わる。



シマイズセンリョウ  
ジャスミンのような甘い香りがする。

## 美味しい実をつける花



リュウキュウバライチゴ



リュウキュウイチゴ



ホウロクイチゴ



実は4月中旬頃からなる。

## 新緑

新緑が芽吹く山は淡い緑色が目立ちますが、奄美では「サンガツハーヤマ」という方言があります。ハーヤマとは、赤い山のことをいい、若葉が山を赤く染めることを表します。実は、若葉でも淡い緑色だけではなく、赤い色のものもあり、よく木を観察してみると赤い若葉がついた木をみることができます。ぜひ、花だけではなく木にも注目してみてください。



◀モッコクの赤い新芽